

9/19 が正解

【0921介護実習②での学び】

1. 栗山公園の改善点

- ・道の舗装
- ・駐車場と排水路のズレ
- ・道へ飛び出した草木の伐採



第3駐車場からの脱出はかなり大変でした。アスファルトの隆起やブロックの段差がかなり高かったですね。

【0921介護実習②での学び】

1. 栗山公園の問題点

- ・道の高さ、画像のように道が隆起しているところがある。
- ・排水口がところどころ飛び出ている。



【0921介護実習②での学び】

1. 車椅子をまっすぐ押すのが難しい

- ・地面がポコポコだから思うようにタイヤが曲がらないので危ない
- ・小さな段差に引っかかってスラスラ進めない

2. グレーチングを通るときに車椅子の向きをナメにする

- ・車椅子の向きをナメにしないと、前輪が挟まって抜けなくなる



よりよい町づくりに必要だと感じたこと

実際に車椅子に乗ったり、押したり体験することで町の不便なところ**に気づく**ことがわかったので、実際に町の人たちや栗山高校の生徒で体験し意見を出すことで、町の不便なところが少しずつ改善されていくと思えました。



【0921介護実習②での学び】

車椅子の操作

- ・ノン/リアフリーエリアでは、車椅子の操作が難しい。

- ・大車輪だけで車いすが動くときは急な斜面や芝生。

- ・グレーチングを通るときは車輪が挟まらないように、斜めに通る。



よりよい町づくりに必要だと感じたこと

1. 排水口の穴の大きさをキャストがはまらないように小さくする。
2. 段差をできるだけスロープに変換する。
3. コンクリートのひび割れをできるだけ塗装する。
4. 砂利道をアスファルトにする。



【0921介護実習②での学び】

1. 一回目で練習したときより栗山公園の道がカタカタで、難しくてあんまり前の状況を見ることができず乗ってる人にすごく振動を与えていた。

Uターンするとき、道が狭くて難しかった。

体育館(講堂)と道路(公道)では、全然違いますね(´_`A



【9月21日の実習で感じたこと】

- ・公園に行くまでの歩道が狭く、草が伸びていて車椅子同士がすれ違うのは厳しいと感じた。



- ・動物園の中に入っていき道やトイレの入口が狭かったため、車椅子が入るのは難しいと感じた。



- ー 栗山公園のトイレ入口
- スライド式で、出入りが楽
- × ドアが重たい

栗山公園タイルの道→

- × 並びが悪いと危ないし、走ったり自転車などで通るのも危険!



【0921介護実習②での学び】

公園にはバリアフリーがあまりなくて**段差や駐車場が砂利道**になっていたり、**タイルが所々浮いたり**しているところがあり危ない。屋外は雨溝があって前輪がはまってしまうので車椅子を斜めにして慎重に進む。屋外は利用者が**肌寒い**と感じることがあるのでそこも配慮する。



同じようなところをスライドにしているのに、こんなにも違いがあるんですね！それぞれのいいところを参考にして、今後のスライドづくりに役立てよう！

【0921介護実習②での学び】

利用者は少しの段差でも座ることにより伝わりやすいこと、介護者は坂などで大きく力を使うこと、車椅子の操作が上手く効かず力を使うこと、砂利道は介護者は力を使う利用者は振動は伝わりやすく大変であること、声がけやコミュニケーションが大切であること、タイルの道は小さい段差が多いこと、道の方で草木がはみ出していて通りづらなことで、動物園の裏の入口は狭くて草木が多く入りづらなことであり、**車椅子を利用している人には不便である**ことが多いと思った。



破損個所は修理？

交換？

誰が？



グレーチングはキャスト(前輪)がはまらないように...これ改善するには？どんな種類があるだろう？

予算は？

かぶせる形で改善はできるか？

耐久性は？

【0921介護実習②での学び】

1. 利用者は坂道、砂利道が特に怖い
2. 少しの坂でも車いすは結構なスピードが出てしまう
3. 利用者は声掛けがないとすごく怖い



車いすの方たちや、介助の方が大変なポイント多数

バリアフリー化を提言するにあたり、どんな人に、どうやって、どんなものを作成していけばいいかを具体的に考えてみましょう！

バリアフリー「まちづくり」に必要なと感じたこと

よりよい町づくりに必要だと感じたこと

- ・町全体でバリアフリーを考えるなら、**学校と町で協力する時間**を作ったりしたほうが良いと思った。
- ・他の公共施設などでも、**バリアフリーや改善点を考えてみる**のが良いと思った。



町民の意見を聞き...高校
生が意見をいきました！

よりよい町づくりに必要だと感じたこと

町が町民の意見を聞き、
道を整備するなど誰もが
住みやすい良好な生活環境を作り、住み続けら
れる街にしていけることが必要だと思います



「学校」と「町」。「町」の中には、このバリアフリー化に関わる企業はどんなところがあるのかな？その人たちにも関わ
てもらえるなら、どんなものがあり、どのくらいの経費がかかるかも聴けるよね！

よりよい町づくりに必要だと感じたこと

・みんなが集まれる場所に**年齢や特徴関係
無く集まれるような場所**が必要だと思っ
た。



・そういう施設にも**車椅子などの設備を備
えておく**ことも重要だと思う。

今回の実習でスロープや坂道の「長さ」や「角度」も重
要だということがわかりましたね！

5. 住みやすい人間関係作りに必要なこと

1. もっと多くの人が**介護について理解**する
2. **助け合いの精神**を持つ
3. もっと多くの人が**バリアフリーの必要性**について理解する



住みやすい人間関係作りに必要だと感じたこと

みんなその人の視点になって
考える・体験する

まとめ

この栗山町は住みやすそうに思うけれど、

- ①地域の公共施設のバリアフリー化
- ②住む人が他者を思いやれる人間性
- ③全体で考えて成長できる街

の3つの考えがあると、きっともっと成長できると思った。

- ・他にもいろんな公共施設などを
「**どんな人でも安全に使える場所**」に
するために何をどうすればいいのかを
考えた方が良かったと思った



- ・講堂や外での実習の経験を通して、
車椅子の人が困っている状況に遭遇したら
自分でも助けられると思ったし、
自分なりに**福祉などに貢献**できると思った

まとめ

今回の実習を通して、**車椅子を押す人、押される人の両方の立場を経験**する
ことができました。この貴重な経験を活かして、自分が車椅子を押す立場に
なったら、「行動を取る前に説明をする」、「できるだけ広い道を選ぶ」
「視線を車椅子に乗っている人に合わせる」などのことを徹底していきた
いです。



「公園での」実習を通して、「他の施設では」を考えてくれた人
もいました！「**栗山と福祉**」はこれなんです！

あなたなら「**何で社会に関わ
れるのか？**」を考えるのが、

まとめ

1. 介護する側だけでなく、**される側の気持ち**も知ることが大切。
2. **どんな相手と話すときでも目と目を合わせる**ことが大切。
3. 介護するときは**姿勢・視界・速度・振動**が大切。



あるべき姿が見えてくる...自分は



「**栗福**」の最終目標です！